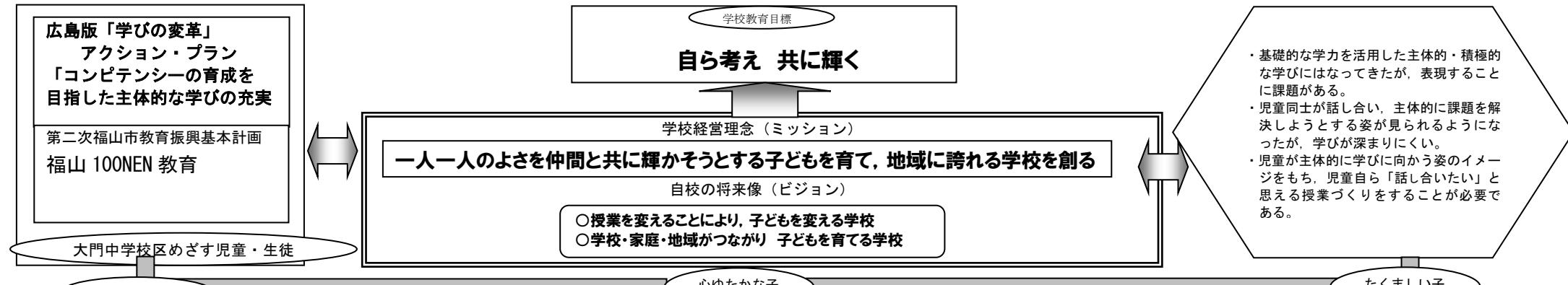


# 2021年度（令和3年度）福山市立旭丘小学校教育構想図

児童の実態



## （校区研究主題）主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり ～「課題発見・解決する学習過程」を工夫し、他者と協働しながら表現力を高める指導の工夫～

### （本校のめざす子ども像）21世紀型 ‘スキル&倫理観’

- 疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして、新たな課題を見つけている。（課題発見・解決力）
- 生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えをもち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。（思考力・判断力・表現力）
- 集団の中で相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標をもち、自分から行動している。（主体性・積極性）
- 相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。（共感力）

### （めざす授業の姿）

- 児童が「学びが楽しい」と思える授業
- 課題解決に向けてあらゆる手段を活用し、みんなで考えを深める授業

### 〈研究の仮説〉

- 児童が自ら考え、他者と協働して課題発見・解決・表現する力を育む指導過程を工夫すれば、児童が主体的に活動し、学びに新たな価値を見いだし、自分の思いを表現する力が育つであろう。

### 音楽

- 一人一人の児童が自己課題をもち、課題発見解決する題材構成の工夫
- 児童の思考を深める教材・教具・ワークシートの工夫
- 音楽表現をみがき合う場の工夫  
→目的を明確にしたペア学習やグループ学習の設定  
→フラッシュカード等の活用による共通事項の習得
- 言語活動の充実  
→音楽を根拠に、共通事項を使って自分の思いや意図・価値などを言葉で表す

### 道徳

- 「規則の尊重」「親切・思いやり」「個性の伸長」について、他の教育活動とのつながりを意識した学習プログラムの構成の工夫
- 児童が主体的に話し合い、練り合う中で、新たな道徳的価値を見出すことのできる授業展開の工夫
- 道徳性の発達段階をもって児童が物事を多面的・多角的に考え、児童の道徳的思考を深める授業づくり

教材研究シートを活用し、ねらいや発問等が一本筋の通った授業になるようにする

### 算数

- 【導入】・児童自らが学びたいと思える導入の工夫  
・児童が自力解決していくことのできる課題の設定
- 【展開】・児童の見取り  
・目的や場面に合った自分の考えの交流形態の工夫  
ペア・グループ・フリー・全体  
・児童同士が説明をつなげながら練り合える話し方、指導者のコーディネート
- 【まとめ】・適用題による学習の定着  
・児童の言葉で学習を振り返る指導の工夫  
◎児童自らが学ぼうとする授業展開の工夫や、話し合いの場のもち方など、教材研究に丁寧に取り組み、授業の工夫を交流することで、さらなる授業改善を図る。

年間5回、授業を参観し、互いの気づきや感想、質問等をGoogleClassroom内にて交流

研究の視点